

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

9月号(NO12)通巻 162号

2019年9月10日(火)発行(毎月10日)

【農暦】大根と白菜を6日にやっと播種した！

○相変わらず酷暑である。8日は白露である。大気が冷えてきて露を結ぶ頃のこと、残暑が引き、本格的に秋の訪れる時季のことであるが、2日程前、少しだけしのぎ易い日があったが、しばらくは酷暑が続きそうである。身体が悲鳴を上げている。豪雨災害、煽り運転、京急のトラック事故、幼児虐待、殺人事件のニュースが続く。それに嫌韓報道である。

○酷暑もだが、異常気象が恒常化している。台風の大型化は海水温と関係すると云うから、温暖化の影響と云える。人間の所業に神の怒りがと思うほどに、次から次へ起こる。身体も心も鬱陶しくなるばかりである。

○この暑さもあり、体力気力も萎え、農作業の頻度は落ちるばかりである。草刈りも主なエリアに限定している。だが一巡しない内に草は繁茂している。そんな状況であるが、大根と白菜の播種のために、2畝のエリアを草刈り、耕起、整地などを数回の作業で行った。6日にやっと播種した。最低限度の農作業しか出来ない。もう少し頑張らないと、と思っている。今は、無理は禁物とずぼらを決め込んでいる。

○ずぼらな時間に読んだ雑誌に元気を貰っている。“明日あるまじく候”細川護熙(元総理)が座右の銘にしているという。明日はないと思って生きればいいのかと考えることで、心身にある種の爽快感を感じる事が出来たと、言っている。これは笠間に馴染みのある親鸞の浄土真宗の蓮如上人のものだそうである。私は同時代の一休宗純の遺文の「心配するな、なんとかなる」を心の支えにしている。蓮如は27人子供がある。83歳で末子が産まれている。齢を取ったと言ってる場合ではないですねと思う。

○残暑が収まり、本格的に秋の訪れに合わせ、草の繁茂力に負けたエリアの草刈りをしたいと思っている。(了)

【菜農】<畑>トマト、茄子、ピーマン、など少量づつ収穫 ネギ、黒豆、小豆の除草。大根、白菜の播種(6日)。
*炎天と雨、それにずぼらもあり、草刈りは要所だけ行う。

【菜市】イベント交流・直売など。

○イベントなど；男女共同参画役員会(28日)、交歓吟詠会(1日)、詩吟例会(8・22日)共生の会(5日)、川柳の会(5日)に参加など。



<穂積家の主屋>江戸時代の豪農。1日撮影



<高萩炭鉱資料館>昭和42年に閉山。1日撮影

【つぶやき=Tweet】世界を俯瞰する外交とは裏腹に国際的な評価は下がるばかり！

○“自民党の石破元幹事長が8月23日のブログで、「日本と朝鮮半島の歴史、特に明治維新後の両国関係を学ぶことの必要性を強く感じています。我が国が敗戦後、戦争責任と正面から向き合っただけでなかったことが多くの問題の根底にあり、それが今日様々な形で表面化しているように思われます」と。また、「ニュールンベルク裁判とは別に戦争責任を自らの手で明らかにしたドイツとの違いは認識しなくてはならない」と指摘していた。

○メディアも含めて「嫌韓・反韓」一色の中で勇気ある発言に意味がある。ネット上での石破批判はもの凄い。匿名での批判は怖い。戦前の悪夢を想像し怖い。安倍一強政治の怖さを肌で感じた。同じ敗戦国ドイツとは歴史認識が違い過ぎる、と思えてならない。茨城自民党は総裁選で石破氏への投票が多数を占めた。石破派国会議員もいる。損得・付度政治家多い中であって、立場が違っても応援したい心境になる。同調圧力の激しい日本社会にあって“異”を貫いて欲しい。

○韓国報道へのファクトチェックを呼び掛ける“希望連帯”のニュース（東京29日）の中でジャーナリストの田原総一郎氏は嫌韓をあおる報道の根源にあるのは日本経済の悪化と指摘し、“ジャパン、アズ、ナンバーワンの時代と違い、日本人は自信を失い、コンプレックスの裏返し”が韓国や中国批判となって、特にテレビは視聴率を下げないために国民に迎合する番組にしている”と云っている。

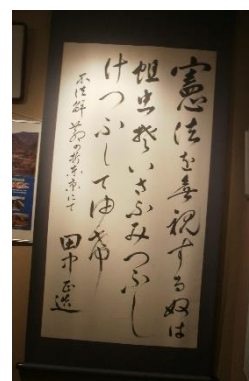
○日本の記者クラブでの東京新聞女性記者と菅官房長官とのやり取りが外国メディアで、**日本は民主主義国家ではない**と批判されていると聞く。丸山国会議員の戦争発言、週間ポストの嫌韓記事などもある。マスコミは政権チェック機能を果たして欲しい。政権に付度しているとしたら怖いものがある。戦前のマスコミの過ちを再びしてはならない。視聴者も賢くならねばと思う。怖い社会にも戦争が出来る国にも戻してはならない。

○アベノミクスの**日本経済の成長率は0,811で191ヶ国中166位**である。先進国の成長率はアメリカ2,857、ドイツ1,474、韓国2,668、中国6,567と鈍化しているが、その中でも最下位である。**温暖化対策でも**、世界で最も排出の多い上位58ヶ国中、温暖化対策の成績は、最下位はサウジアラビアで**日本は下から2番目**である。**男女共同参画の格差指数は149ヶ国中110位**である。世界を俯瞰する外交とは裏腹に国際的な評価は下がるばかりである。国際的視座を意識して持たないと井の中の蛙になってしまう。田原総一郎さんの言葉ではないが“コンプレックスの裏返し”が韓国や中国批判となつては寂しいですね。よい事なしで、またも重い話に。(了)

○**断捨離考**：ずばら月間となりました。“なるようにしかならない”で頑張ります。

【後記】実りの秋が間近！。Kogure農場に。

【特に編集せずランダム構成】



<田中正造の書> 憲法を無視する奴は蛆虫、、、炭鉱資料館に1日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com